

(一社) 静岡県私立幼稚園振興協会のあり方検討プロジェクト
令和4年度 第4回会議

令和5年1月10日(火)
午後2時～
私学会館4階中会議室

1 開 会

2 委員長挨拶

3 議事

(1) 「振興協会のあり方について(素案)」のとりまとめ

- ・事業評価状況の確認
- ・常置委員会の事業内容
- ・今後のスケジュール ほか

(2) 各地区での意見集約について

(3) その他

振興協会のあり方検討プロジェクトの提案の概要(素案)

県私幼を取り巻く状況

<子ども・子育て支援新制度施行>

私学助成園、新制度幼稚園など
経営形態の多様化に伴い加盟園の
様々なニーズへの対応が必要

新制度移行園の増加に伴い市町との
関係性の強化が必要

新制度移行園の増加に伴う施設型
給付費の加算にかかる研修ニーズ
の高まり

<教員免許状更新制の発展的解消>
主体的、継続的な学びの重要性の
高まり

<少子化の進行ほか>

園児数の減に伴う会費収入の減少
や協会預け金の返還等に伴う
運用益収入の減少等により、
将来的な収支悪化に備えた対応が
必要

R3: 15,000千円黒字

R9: 赤字見込み
以降赤字幅が拡大

あり方提案の骨子

1 地区活動の基盤強化と地区の状況を協会運営に 反映しやすい組織づくり

(1) 30園規模を目安とした地区の統合
(11地区→6地区(△5地区))
※地区の研修体制の充実

(2) 地区長の理事就任

(3) 三役・地区長会の常設化

2 より学びやすい研修環境づくり

(1) 研修形態の多様化

(2) 地区の研修担当と連携した研修体制の検討

(3) 分野別(俯瞰図体系別)研修体系への再編

(4) 一元的な企画運営体制

3 振興協会の経営基盤の強化

(1) 事業・組織のスリム化など

① 事業評価等による見直し
事業の廃止・縮小・見直し

② 常置委員会の再編
5委員会→4委員会
構成員の削減(58人→30人(△28人))

③ 理事の削減(22人→15人(△7人))

(2) 公益社団法人への移行

<全事業＝公益目的事業>

- 1 私立幼稚園教育の充実・振興を図る事業
 - ・ 教職員養成研修・研究事業
 - ・ 健全経営等推進事業
- 2 地域の子育てを支援する事業

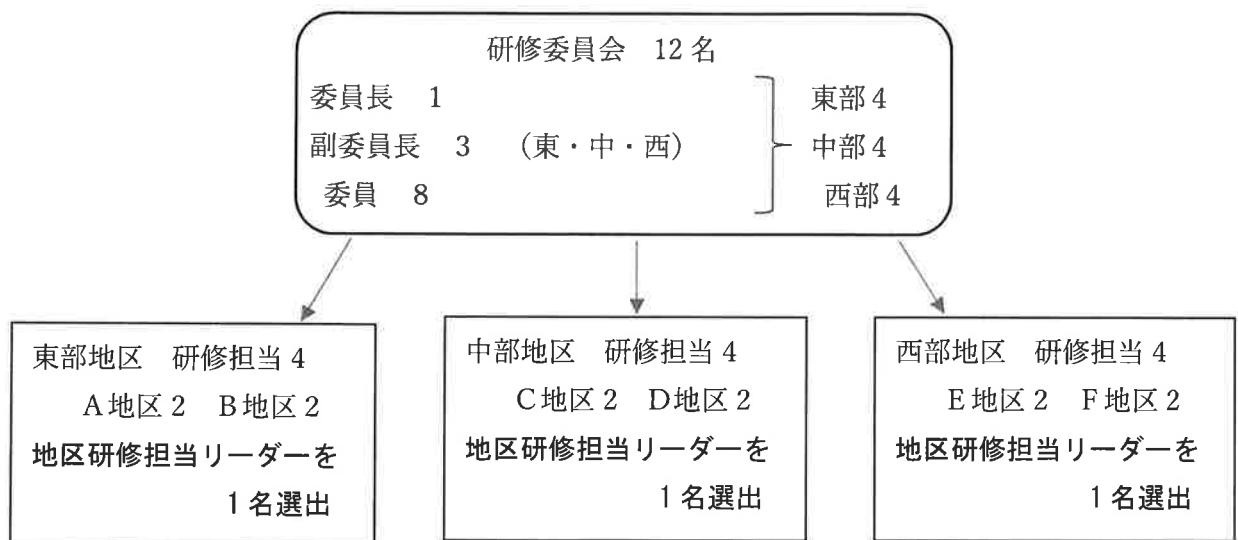
振興協会のあり方検討に関する今後のスケジュール（案）

令和5年

| | | |
|------------|---|-----------------|
| 1/19（木） | 運営委員会（三役・委員長）での説明・協議 | |
| 1/25（水） | 三役・地区長会での説明・協議 | →各地区での協議 |
| 2/15（水） | 理事会での説明・協議 | |
| 3月中下旬 | 三役・地区長会での協議 | ←各地区の意見 |
| 3月下旬～4月 | あり方検討プロジェクト会議 ※あり方提案（案）等のまとめ | |
| 5/12（金） | 理事会で決議 | あり方の内容及び定款、運営規則 |
| 6/6（火） | 総会で決議 | あり方の内容及び定款、運営規則 |
| 7月～11月 | 現委員会等による新委員会の事業計画案検討 研修：研修 企画・人材確保・育成 広報：子育て 経営：経営研究 統合対象地区間の協議調整 地区の事業 地区推薦の役員、委員など | |
| 12月～ | R6事業計画案の策定 新役員候補者の選任など | |
| 令和6年 4月 | 新たな振興協会に移行 | |

研修委員会の新体制について

- ◎ あり方検討委員会と研修正副委員長との打ち合わせ会でお伝えしたように、現状の委員会の様子から考えると、例として示された体制において、**研修委員会と地区の研修担当との繋ぎ、連携にかなり不安が残る**というのが正副の意見です。確実に計画と運営がずれることなく行われるためには、地区研修担当者も委員となり、研修委員会全体として動くのが確かだと考えるのですが、スリム化を図る新体制の趣旨を踏まえると、それは難しいことでしょう。
- ◎ 新体制の趣旨を考えると、あり方委員会で示して頂いた体制や人数が適当であるかと思えます。その中で、確かな連携という点において考慮したいこととして、下記の点を挙げてみました。



- ① 各地区の研修担当4名の中から1名を地区研修担当リーダーとして選出して頂き、研修委員会の地区研修担当者・責任者、委員会とのパイプ役となって頂く。この方については、なるべく、過去に研修委員を務めてくださったことがある方にお受けいただくことを希望する。
- ② 地区研修担当リーダーは、研修委員会に数回参加し研修計画について情報交換を行う。
 - ・次年度の研修を企画する10月頃と、研修会の詳細を打ち合わせする6月頃の最低2回は参加。(様子によっては参加を依頼する場合もあり?)
- ③ 地区研修担当リーダーは、地区担当者4名による担当者会議を必要に応じて開き、委員会での決定内容を各地区の担当者と共有する。

- ◎ 研修委員は、一人一人が研修を担当し、直接ご多忙な講師の方々に依頼し、連絡を取り合う重要な役目があります。その役割の意味を自覚されて一生懸命取り組んでくださる方がほとんどですが、中には欠席しがちだったり、アポ取りが不確実だったり、締め切りを守っていただけず提出すべきものが整っていなかったり、という様子がみられ、事務局でも苦勞してカバーしてくださっているのも事実です。次期からは、研修委員の選出の際には、各地区でもその点を加味して選出していただくよう希望いたします。
- ◎ 研修委員会と地区研修担当との業務分担については、事務局も交えて今後考えていかなければならないと思います。
- ◎ あり方委員会の提案には、“経営者や事務職員向けの研修も含め、研修全般の企画を一元的に行う”とありますが、経営や事務職の研修に詳しい方が委員会に加わって頂かないと企画が難しいという懸念があります。そのような方を含めて12名という人数が適当かどうかについては不安が残りますがいかがでしょうか。

以上のように、あり方委員会のご提案について、正副研修委員長で話をしたことをまとめてみました。

新体制に向かう意味を踏まえて、資質向上という要をおさえながら、より効果的、効率的に運営できるように今後も検討していく必要もあるかと思います。研修委員会として、現状より多忙、複雑にならないよう留意しながら検討していけたらと思います。

振興協会のあり方について（素案）への意見

各提案項目について、可能な限り地区としての意見を集約していただき、「地区」欄には、集約された意見（賛成、反対、その他）を、「意見」欄には地区で出された主な意見を記入してください。なお、地区としての意見の集約が困難な場合（項目）は、「意見」欄のみ記入してください。

（〇〇地区）

| 提案項目 | 地区 | 意見 |
|------------------|-----|---|
| 1(1) 地区の統合 | 賛成 | <p><賛成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の重要性は高まっており基盤強化のため地区の統合は必要である。 ・地区の統合を円滑に進めるため、統合する地区同士の話し合いを十分に行う時間を確保する必要がある。 ・ <p><反対></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状に特に不都合はなく、統合する必要性を感じない。 ・これまであまり交流のない地区との統合は不安がある。 |
| 1(2) 地区長の理事就任 | 賛成 | <p><賛成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の代表である地区長は理事として協会運営に参加すべきである。 |
| 1(3) 三役・地区長会の常設 | 賛成 | <p><賛成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三役と地区長との情報共有の場は必要である。 |
| 2(1) 研修形態の多様化 | 賛成 | <p><賛成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッドや ZOOM によるオンライン会場方式を積極的に導入すべき。 |
| 2(2) 地区の研修担当との連携 | その他 | <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修委員会と地区の研修担当との連携がうまく図られるのかわからない。 |
| 2(3) 分野別研修体系 | | |
| 2(4) 研修の一元化 | | |
| 3(1) ①事業の見直し | | |
| 3(1) ②常置委員会再編 | | |
| 3(1) ③理事の削減 | | |
| 3(2) 公益社団への移行 | | |

(〇〇地区)

| 提案項目 | 地区 | 意見 |
|----------------|----|----|
| 4 スケジュール など | | |
| 5 その他 | | |